

地盤・基礎:A

地盤・基礎の評価 **1.00**

基礎の種類

無筋コンクリート基礎

地盤の種類

普通が良い方である

評価と改善ポイント

地盤・基礎ともに一応安全です。

老朽度:F

老朽度の評価 **1.00**

健全である

評価と改善ポイント

安全です。

地震動:G

地震動の評価 **1.00**

都道府県 **千葉**

地域係数 **1**

地震の割り増し **1**

建物の形・壁の配置:B×C

X座標

Y座標

1階重心	2.80 m	6.33 m
1階剛心	3.58 m	4.97 m
1階偏心距離	0.78 m	1.36 m

X方向

Y方向

1階弾力半径	3.55 m	5.69 m
1階偏心率	0.38	0.14
建物の形 壁の配置の評価	0.61	1.00

筋かい・壁の割合:D×E

床面積2階 **35.61 m²**

床面積1階 **52.58 m²**

屋根の種類 **軽い方である**

1階の所要有効壁量 **12.19 m**

1階の存在壁量	X方向 15.32 m	Y方向 7.19 m
---------	--------------------	-------------------

筋かい・壁の割合	1.26	0.59
----------	-------------	-------------

X方向の評価

A	B×C	D×E	F	G	総合判定
1.00	× 0.61	× 1.26	× 1.00	× 1.00	= 0.77

総合判定結果 **やや危険です。**

壁の量とバランスに関する評価と改善ポイント

有効な壁の量は満足していますが、配置が偏っています。地震で揺られる側に壁を増やす方が安心です。

Y方向の評価

A	B×C	D×E	F	G	総合判定
1.00	× 1.00	× 0.59	× 1.00	× 1.00	= 0.59

総合判定結果 **倒壊または大破壊の危険があります**

壁の量とバランスに関する評価と改善ポイント

有効な壁の量がかなり不足ですが、配置は適切です。全体に相当多くの壁を増やし、平面的に偏らないように配置して下さい。

閉じる

この画面を印刷

補強計画のアドバイスを表示